

県知事
選挙

4月12日
投票

「生活苦」の打開へ 3つの転換を

飯泉県政の12年、くらはは良くなったでしょうか。「苦くなった」というのが大多数の声です。その原因をただす3つの転換が必要です。

CHANGE 1 安倍政権の悪政流しこむ県政から 国にモノをいう県政へ

消費税増税や社会保障きりすて、TPP推進、改憲など——国の悪政を、飯泉県政は「消費税は地方財源として必要」などと流し込む役割をはたしています。

ふるたみちよは、国にちゃんとモノをいい、悪政の「防波堤」の役割をはたす県政をつくります。

CHANGE 2 利権とムダを続ける県政から くらし・福祉最優先の県政へ

渋滞はほとんどないのに鉄道高架事業（500億円）、同等の処理能力で合併浄化槽の3倍以上もかかる流域下水道（2100億円）を推進。高松—大阪間の旅行時間、1分短縮あたり約454億円もかかる四国新幹線構想を推進——新たな巨大なムダづかい計画です。

同和行政のゆがみをそのまま引きつぎ、一民間企業、徳島化製へ、補助金（今年は年1億円、総額47億円）をだしつづけています。

ふるたみちよは、ムダと利権を一掃し、くらし・福祉最優先の県政をつくります。

CHANGE 3 周辺地域きりすて先取り県政から 地域経済応援の県政へ

飯泉県政は合併を積極的に推進してきました。その結果について「徳島新聞」は「合併旧町村の過疎拍車」（2014年6月2日付）と指摘。さらに、地方中枢拠点都市への投資集中など、さらに周辺部の衰退をすすめる「地方創生」を先取りですすめようとしています。

ふるたみちよは、くらしと生業を応援し、地域経済を元気にする県政へ切りかえます。

えー！ 自民 公明 など オール与党で後押し

ムダと利権の予算に自民、公明など他の会派は、日本共産党をのぞきオール賛成。同和利権を継続した徳島化製への補助金にも、ひとことの発言もありません。オール与党で飯泉県政を支えているのです。

日本共産党は、堂々と「ムダをけずって福祉・くらしの充実」「徳島化製への補助金の廃止」を求めています。

安心・元気・希望の徳島へ

VS 安倍政権・CHANGE 飯泉県政で

飯泉県政を変えて



日本共産党



党副委員長
知事予定候補

清潔・誠実・あたたかハートでくらしをまもる

ふるたみちよ

略歴

1948年阿南市加茂町生まれ。1971年徳島大学教育学部卒業。生光学園で25年間小学校教員。1999年県議に初当選し、現在4期目。2011年4月から党県議団長。現在、鉄道高架の中止を求める連絡会世話人、消費税をなくす世話人、9条の会徳島幹事、新町西再開発の白紙撤回を求める市民の世話人。住所は徳島市八万町夷山159 家族は夫と次女

ふるたみちよ

検索



くらし、生業応援する
あたたかい県政を期待

徳島県社会保険推進協議会 会長 井上 尚さん

県議として、飯泉県政と対峙し、くらし・福祉・教育の充実へ力を尽くしてきたふるたみちよさん。安倍政権の暴走の防波堤となり、庶民のくらし、生業を応援するあたたかい県政への転換を期待します。



2・3月号外 発行：徳島新報社 徳島市北佐古二番町4-40

ご意見ご要望は ☎ 088-631-1321 FAX 088-631-1391 ●日本共産党徳島県委員会の見解を紹介します。

清潔、誠実、あったか女性知事で 安心・元気・希望の徳島へ

私は、県議として、県民の目線で県政をチェックし、県民の声を県政にとどけてきました。小学校卒業まで子どもの医療費無料がひろがり、35人学級が中学1年まで前進しました。しかし、飯泉県政では県民の苦しみが増えるばかりです。鉄道高架事業や流域下水道などのムダと利権をただせば財源はあります。みなさんと力をあわせて、次の6つの重点政策の実現へ力を尽くします。

日本共産党

ふるた みちよ



1

暮らし・福祉・医療の充実

県の助成で 国保1人1万円引き下げ、介護の負担軽減

県費助成(15県が実施)で国保料(税)を1人1万円引き下げる。
介護保険料・利用料軽減の県独自の制度をつくる。

産婦人科医師確保、医療の充実

産婦人科医師確保、乳幼児医療充実など医療体制の充実をはかる。

減量・資源化のごみ処理を

ごみ処理広域化の押しつけをやめる。産廃の不法投棄は許さない。

消費税増税ストップを国に求める

4

防災・汚水処理・道路整備

木造住宅の耐震化補助110万円に

橋梁耐震化と避難路整備をはかる。津波避難タワー、避難施設の整備をすすめる。木造住宅の耐震化補助を110万円に引きあげる。

土砂災害、浸水被害対策

土砂災害危険か所の対策、河川・ダムへの堆砂除去、無堤地区解消、内水被害対策を促進する。

合併浄化槽で汚水処理を推進

流域下水道を中止し、汚水処理は、負担が少なく地元業者が潤う合併浄化槽を設置する事業を進める。

生活道路の整備

鉄道高架事業、農地防災事業は中止しその財源を振り向ける。

2

子育て・教育の支援

中学校卒業まで医療費無料に

子育て支援策として、県費助成で中学校卒業まで無料を実現する。

高校授業料を全生徒無償に

県の助成で高校授業料の全生徒の無償化。
給食費への半額の県費補助をおこなう。

中学3年まで少人数学級に

第3子以降の保育料無料化

第3子以降の保育料無料化に県の助成を行う。
待機児童をなくす。



3

青年支援で未来に希望を

正規採用を増やす

県が率先して臨時職員、臨時教員を正規化する。

ブラック企業を許さない

労働基準監督署と連携し、相談、調査、公表、指導をはかる。

戦争をする国づくり許さない

米軍機の低空飛行訓練の中止を国とともに米軍にも求める。

「地方創生」による周辺地域切り捨て許さず、 自治機能の再生をはかる

5

地域の中小企業支援

県の住宅リフォーム助成制度創設

商店街活性化へ店舗リフォーム助成制度もつくる。
地元の建設業者、労働者が潤いお金が地域に循環す

公契約条例の制定

ダンピング受注や下請け、労働者へのしわ寄せをやめさせる。

原発ゼロへ、住宅用太陽光発電に補助

地元業者が潤い、再生可能エネルギーの普及に役立つ。

6

農林水産業への支援

家族農業への支援を重視

価格保障と所得補償を組み合わせ、家族農業を支援する。

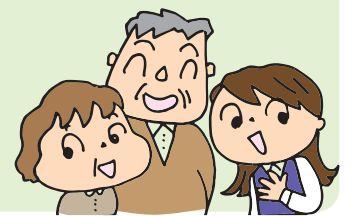
TPPからの撤退を国に求める

林業・漁業の振興

県産材の利用促進。バイオマスエネルギーとして活用を促進する。
漁業用の燃油高騰時に支援する県独自の制度を創設する。

過疎地域の足の確保

買い物難民の解消など、過疎地域の交通網の確保をはかる。



はばひろい県民と日本共産党の共同が政治を動かしています

徳島市の新町西再開発問題でも、佐那河内へのごみ処理施設建設計画でも、日本共産党と県民の共同が政治を動かしています。

安倍政権の暴走がひどいときだけに、一番対決できる日本共産党と県民が力をあわせてこそ政治を動かす確かな力になります。

私たちも力をあわせてがんばります

日本共産党公認の県議予定候補です。()内は定数。

徳島選挙区(10)

山田豊



活動地域

上八万、入田、国府、加茂名、加茂、佐古、不動、川内、応神、渭北(常三島の各町、東吉野町2~3丁目を除く)

徳島選挙区(10)

上村きょう子



活動地域

八万、東西富田、勝占、多家良、津田、昭和、内町、新町、清東、沖洲、渭北のうち常三島の各町、東吉野町2~3丁目、佐那河内村

板野選挙区(4)

てづか弘司



活動地域

板野郡全域

阿南選挙区(4)

たつた良子



活動地域

阿南市全域